

浅間山砂防だより

～国土交通省による火山砂防事業のご紹介～

第二号 平成24年 8月 1日

国土交通省
利根川水系砂防事務所 浅間山出張所

浅間山山麓における環境調査のお知らせ

国土交通省による浅間山火山砂防事業について、今年度は、砂防施設計画・設計のため各種調査を実施しております。
今回は、事業箇所周辺における、自然環境を把握することを目的とした、動植物の現地調査についてお知らせします。



魚類調査のイメージ

1. 調査の項目

調査項目	内容
魚類	魚類（イワナなど）を捕獲します。
底生動物	川底の石などに生息する川虫（カゲロウ、カワゲラなど）を採集します。
植物	植物を対象に、現地で見て記録します。
鳥類	鳥類を対象に、双眼鏡などで観察し、記録します。
両生類 爬虫類 哺乳類	両生類（カエル、サンショウウオなど）、爬虫類（ヘビ、カメなど）、哺乳類（クマ、シカなど）を対象に、現地で生体や痕跡を確認し、記録します。また、ネズミを対象にトラップ（カゴわな）を設置し、捕獲します。
陸上昆虫類	陸上昆虫類（チョウ、ハチ、コウチュウなど）を対象に、捕虫網などを使用して採集します。また、トラップを設置し、集まった昆虫を採集します。



調査員の服装

2. 調査を実施する場所

各調査は、図中に示した場所周辺で実施します。



調査範囲は、広域となりますが、調査範囲内にある宅地及び耕作地に立ち入ることはありません。

3. 調査の時期

現地調査は、夏季（7月下旬～8月中旬）、秋季（9月中旬～10月下旬）、冬季（11月中旬～12月下旬）の3季に渡り実施します。

4. 調査実施者

現地調査は、利根川水系砂防事務所が委託した下記業者が実施いたします。
〔受注者〕株式会社 建設環境研究所

5. 問い合わせ先 浅間山出張所（TEL 0267-58-1080）

融雪型火山泥流とは？

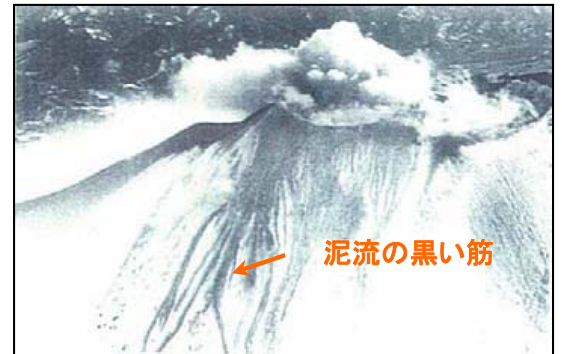
浅間山火山砂防事業の対象現象の1つである、「融雪型火山泥流」について、解説します。

噴火現象の一つである、「火砕流」は、火山から噴出した、火山灰や溶岩片が高速・高温で斜面をなだれ下る現象で、**温度は数百度にも達し、時速は100km**を超えることがあります。

「融雪型火山泥流」は、雪が山頂付近に積もっている冬場に、火砕流が発生した場合に、高温の火砕流が雪を融かし、「細かい土砂を含んだ泥のような流れ(泥流)」となることです。

「融雪型火山泥流」は流下速度が速く(時速約60km)、到達距離も長く(10km超)なるため、大規模な災害を引き起こしやすい現象です。

浅間山では、右の写真のように小規模な火山泥流が発生した事例があり、今後も大規模な融雪型火山泥流が発生する恐れがあるとして、ハザードマップが発表となっています。



1973年2月火砕流の様子(上)
と発生した火山泥流の黒い筋(下)

「大人の文化祭」に出展

平成24年7月14日(土)～15日(月)に長野市エムウェーブで開催された「大人の文化祭」に、長野県治水砂防協会と共同で、利根川水系砂防事務所は、火山砂防に関するパネル展示及び自然災害体験車による実演を行いました。

自然災害体験車は、3D立体映像及び可動式の椅子により、土石流災害を疑似体験できる装置です。約400名の方に体験頂きましたが、「びっくりした」「少し怖かった」などの感想が寄せられ、大変好評でした。



パネル展示状況



自然災害体験車 実演状況

とねさぼう
国土交通省 利根川水系砂防事務所



とねSABOモバイル
浅間山ライブカメラ映像や
地域情報、防災情報などを
携帯で配信中!
<http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/m/>

浅間山出張所
〒384-2104
佐久市甲1399
(佐久市浅科支所 3階)
TEL 0267-58-1080

浅間山出張所管内



浅間山出張所案内図



浅間山砂防だより
第2号 H24.8.1